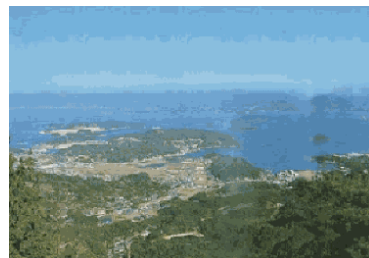


波間きらめく瀬戸の海旭正しく睦み合い(大崎小校歌の冒頭)

瀬戸内海の真ん中に浮かぶ大催上島。島のほぼ中央にそびえる「神峰山」(通称『かんのみね』)の山頂展望台からは、瀬戸内海と大小 115 の瀬戸の島々、しまなみ海道・日本三大急流の来島海峡が一望できます。また、この素晴らしい自然環境の中で、地域の皆様の温かい支援を受けながら、121名の子供たちは、優しく元気に成長しています。



平成 15 年 4 月、島内の大崎町・東野町・木江町の3町が合併し「大崎上島町」となりました。そして、平成 20 年 4 月、旧大崎町である中野地域と西野地域を校区とする大崎上島町立大崎小学校がスタートして、14年目を迎えました。

これもひとえに多くの皆様のご理解とご協力のおかげです。

本町のシンボルである『かんのみね』を仰ぎつつ、大崎小学校の校門に入ると、子供たちの明るく元気な声が響いてきます。気持ちの良い挨拶の声、響く歌声、休憩時間に外で元気よく遊ぶ声など、充実した学校生活の一端をあらわしています。



本年度、本校では、学校経営目標を「学校は楽しむところ」、学校教育目標を「げんき」「やるき」「こんき」の三つの「き」を育てよう、とし、自立(自分で考え、自分で歩いていける)ようになるために様々な教育活動を進めています。

「大崎上島の子供は大崎上島で育てる」「地域と共に学校を創る」をスローガンに、保護者・地域のみなさまと共に手を携えていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

令和3年 4 月 1 日

大崎上島町立大崎小学校
校長 望月 浩和